

弁護士という仕事

中村 真

担当編集から 独特のタッチのイラストで人気を博す中村真弁護士が、弁護士という仕事・職業について軽妙な筆致で語り尽くす本です。78点ものイラストを、この本のために描き下ろしていただきました。中村先生はこれまでも多くの著作を世に出されていますが、もしかしたら中でもイラストの数が一番多いのではないのでしょうか。また、短く改行を重ね、テンポよく読める体裁に見覚えがある方も多かもしれません。それは、同先生のブログに倣ったものです。本書は、仕事の魅力、苦勞、業界の展望などをテーマとして取り上げながら、弁護士の喜怒哀楽をユーモアたっぷりに紹介していきます。弁護士という仕事をすでによく知っている人、そうでない人のどちらも、楽しく読める本に仕上がっています。弁護士の仕事、ひいては弁護士の人生・生き様を描く本書を、是非手に取ってみてください。(個人的に一番好きなイラストは、166頁の、弁護士と検察官が対峙する場面を描いたものです) (Y)



「まこつ先生」による書き下ろし&描き下ろし

独特のタッチのイラストで人気を博す中村真弁護士が、**弁護士という仕事・職業**について軽妙な筆致で語り&描き尽くす。

なんかがお役に立てませんか？

ちり「スズ」井 有斐聞

— 対象 —
法曹 一般



2025年12月発売 / 272頁 / 定価2420円(税込)
四六判 / 並製

Point “まこつ先生”らしさの詰まった一冊!

1 なぜ人は弁護士になるのか？

私が弁護士バッジを付けるようになってから、はや22年が経とうとしています。

そのあいだ、「なんで弁護士になったのですか」と聞かれることは何度もありました。

同業者と飲んでいるときや、依頼者と一緒に調停の待合室に並んで座っているときなど、このありふれた質問が私に投げかけられる場面は本当に様々です。

最近では、法学部生やロースクール生の方から尋ねられることも多くなりました。

そういうとき、私はまず相手がどういった意図で聞いているのかを推測し、次に相手はどういった答えを期待しているのか、どう答えると話がうまく進むのかを考えてしまいます。

そのため、そのときどきによって私の答えは異なります。「身近な人の役に立ちたいと思ったから」「安定していて社会的な地位もあると思ったから」

「法律が好きだから」
「なんとなく自分に向いていると思ったから」

やはり飲み会の席で途切れた話題の埋め革めに聞かれるのと、人生の岐路に立った前途有望な学生さんから進路相談のために聞かれるのとでは質問の重みも答えの持つ意味も異なります。

私はなぜ弁護士になったのか、
その問いに対する明確な答えは自分の中に用意できていません。

それには多分、いくつかの理由があって一つには明確にこれという理由を特定できず、説明が難しいからでしょう。

先に挙げたいいくつかの答えはどれも

2

1 弁護士になってみませんか

1 なぜ人は弁護士になるのか？

3

詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

